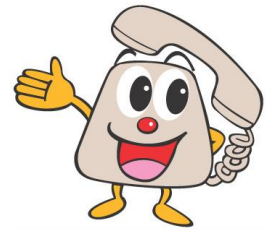


就学先決定までの流れ

一般的な就学相談のスケジュールをお知らせします。



《就学相談のスケジュール例》

月	スケジュール
4	① 就学について知る
5	② 市町村教育委員会への連絡
6	③ 学校見学や市町村の就学相談への申し込み
7	<p>特別支援学校の見学会の日程などはHPに掲載されています。</p> <p>広報に載っている場合もありますが、②で連絡をしていれば通常は案内があります。</p>
8	④ 市町村の就学相談会 ※日時については、市町村によって異なります。
9	⑤ 就学支援委員会（就学支援審議会）
10	⑥ 就学時健康診断
11	
12	
1	⑦ 就学通知
2	⑧ 就学予定校 教育相談・一日入学
3	

まずは連絡！はじめの一步です。
病院に入院中の場合、情報を得られないことがあるので注意しましょう。

希望が明確であれば「子どもの～を伸ばしたいので～校を希望します。」と伝えるとよいと思います。迷っている時は、迷っている内容を具体的に話しましょう。

就学相談の内容や幼稚園、保育所等での活動の様子に基づき教育・医療等の専門家が集まり、お子さんにとってのより良い学習の場について話し合います。

この時点では就学校が決まっていませんので、最寄りの小学校等で健康診断を受けます。

保護者の希望と県就学支援審議会の審議結果が違う場合は、保護者に意向を確認するため連絡があります。

これが決定です。教育委員会から届きます。

就学予定校の教育相談または一日入学があります。入学後の学習や生活を想定してお話するとよいと思います。

各市町村の動きについて最新の情報を得ることが大切です。保健師さんや幼稚園、保育所等の先生と連絡を取り合いながら、相談の申込み等に遅れないようにしておく必要があります。

就学相談への参加や見学したい学校がある場合は、保護者が直接連絡を取るか、幼稚園や保育所等を通して申込みをします。



『お子さんの就学先を考えるときに大切なことは・・・』

「どちらの学校がいいかな」と比べる考え方ではなく、「どんなふうに育ててほしいのか」「どんなことができるようになってほしいのか」について、具体的に考えることです。そのためには、お子さんの今の状態（「どんなことが好きで、どんなところが伸びてきているか」「苦手なことは何か」など）を具体的に把握することが必要です。

1年後、3年後のお子さんの姿を具体的に思い浮かべ、それが可能になるための指導・支援をしてくれる学校はどこなのか考えていくと良いと思います。

幼稚園や保育所の先生、保健師さん、主治医や、訓練の先生、担当の看護師の方から、お子さんの様子をよく聞いておくことがとても大切です。就学先が決まるまでは、様々な悩みや不安が出てくることも考えられます。身近に相談できる人がいることは心強いだけではなく、様々な視点でお子さんを見てより良い方向性を考えることができます。みんなが相談にのってくれますので、安心して進めていきましょう。

就学について悩んだり不安になったりすることはお子さんの明るい未来を切り拓くためのものです。私たちも応援します。



《学校選びの考え方》

「天秤型」から「どんな実をつけよう型」へ考え方の転換を！

